

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

坂井市立春江西小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 地域コーディネーター（6名）
- ・春江西コミュニティセンター長（1名）
 - ・春江西部まちづくり協議会委員（1名）
 - ・JA職員（1名）
 - ・坂井市福祉協議会代表（1名）
 - ・児童民生委員（1名）
 - ・PTA会長

(2) 協議会の内容

- 開催日程 令和元年 6月11日（火）
令和元年10月29日（火）
令和2年 2月28日（金）
- 協議内容
- 【第1回】教育目標・年間計画および児童の提案等の確認・協力依頼
- 【第2回】家庭・地域の子育ての意見交換
- 【第3回】学校評価検討と次年度改善策と計画（意見交換）

(3) 協議会における成果と課題

- 地域の実情を活かした本校の伝統になっている体験活動への理解・協力をいただいた。
- 地域行事やコミュニティセンターの行事および地域教育施設活用への前向きな意見交換ができた。
- 家庭・地域の子育ての課題解決や見守り活動の充実に向けての提案をいただき、一部実践につなげることができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

農業体験・地産地消活動をとおして地域産業である稲作と畑作農業について学び、地域で活躍する方々と共に活動することで、ふるさと春江・坂井の伝統・自然・人に誇りを持ち、地域を愛する児童の育成を目指す。

(2) 活動の実際

①地域の方とともに米作り体験（5年生）

- 4月 5年生代表児童、地域コーディネーター等が今年度の稲作体験について計画を立てる。
- 5月 保護者や地域のボランティアの方々の協力で田植えを行う。
- ～8月 稲の生育状況を随時観察する。また、JA職員の指導で除草作業や水の管理を行う。
- 9月 保護者や地域のボランティアの方々の協力で稲刈りを行う。



②地産地消 地域の野菜作り体験（2～5年生）

地域のボランティアの方々やJA職員の指導をいただきながら、大豆、サツマイモ、トマト等の栽培について学んだ。2年生はつくったトマト等を乗せたピザづくりで収穫の喜びを味わ

(様式3)

った。3年生は大豆の種まきから収穫までをJA職員の方のご支援のもとで体験した。また、収穫した大豆で地域の方々と一緒に豆腐作りを体験した。ペア学年の5年生に作りたての豆腐をふるまう交流も行った。「地域で大豆の栽培が盛んな理由」「大豆のひみつや特徴」「大豆からできる食べ物」「自分が考えた大豆レシピ」等を調べて、体感したことやまとめたことを発表し合い、掲示物で地域の方々にもPRした。



③「ありがとう集会」の開催（1～6年生）

児童は、見守り隊、読み聞かせボランティア、民生委員、交通安全協会JAの職員の方等地域の方々に大変お世話になっている。これらの方々に感謝の気持ちを伝える「ありがとう集会」を6年生が中心に企画し、開催した。当日は、27名の方々を招き、全校合唱やお礼の言葉で感謝の意を伝えた。司会・運営を担当する児童が自らポータブルアンプをセッティングし、自分たちで曲を流し、立案したダンスやゲームで交流を深め、全校児童が手がけてつくったプレゼントも手渡した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・昨年度末と今年度初めに、教員代表とともに年間計画の立案と確認を行った。
- ・それぞれの活動の際に、関係機関や人員との連絡調整、準備および指導や助言をいただく。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域との連携を重視する意味で、より多くの保護者や地域の方々に協力と参加を依頼し事業を推進した。事業の情報発信にも努めた。
- ・計画の段階で、児童の意見や希望を取り入れ、地域コーディネーターと教員が話し合う場を設定するように努めた。

(5) 成果と課題

- ・地域の方々、保護者等の協力と連携により、ねらいを達成することができた。
- ・体験活動を多く行うことにより、事前事後の学習内容が深まった。また、児童が多くの地域の方々とふれあうことで、地域への愛着を深めることができた。
- ・地元ならではの米作りの苦労や工夫ややりがい、また野菜作りの醍醐味を体験するだけでなく、体験から生まれた気づきや考えを広げ、児童が自分たちにできることを主体的に実践できる活動にもつなげられた。
- ・地域コーディネーターとより連携し、児童の主体性を取り入れた学習活動の更なる充実と効率化を目指す。